

【経営指標の算出方法】

① 経営資本営業利益率

経営に充てた資本により、どれだけ営業利益を上げたかを表し、高いほど収益性が良い。

$$\text{（営業収益－営業費用）} \div \text{経営資本} \times 100$$

※経営資本＝{期首（総資産－建設仮勘定－投資）＋期末（総資産－建設仮勘定－投資）} ÷ 2

② 営業収支比率

経営活動の成否を判断する営業活動の能率を表し、高いほど収益性が良い。

$$\text{営業収益} \div \text{営業費用} \times 100$$

③ 経常収支比率

経常的に行われる営業活動と財務活動を含めた企業活動の効率性を表し、高いほど良い。

$$\text{（営業収益＋営業外収益）} \div \text{（営業費用＋営業外費用）} \times 100$$

④ 自己資本構成比率

総資本に対する自己資本の割合であり、この割合が高いほど財務基盤は安定している。

$$\text{（資本金＋剰余金＋繰延収益）} \div \text{（資本金＋剰余金＋繰延収益＋固定・流動負債）} \times 100$$

⑤ 流動比率

短期的（1年以内）な支払能力を表しており、高いほど財務基盤は安定している。

$$\text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100$$

【達成度評価の方法】

① 経営指標及び計画業務量に係る達成度評価

- ・ 目標を上回った方が良い項目の達成率算式
(決算値－計画値又は予算値) / 計画値又は予算値の絶対値 × 100 + 100
- ・ 目標を下回った方が良い項目の達成率算式
(計画値又は予算値－決算値) / 計画値又は予算値の絶対値 × 100 + 100

区分	計画値又は予算値と決算値を比較（達成率を算出）して達成度を評価	
A	100%以上	計画値又は予算値（100%）以上
B	100%未満～90%以上	計画値又は予算値（100%）未満
C	90%未満	

② 実施計画に係る達成状況を含めた総合的な達成度評価

①の達成度及び実施計画に対する取組実績等の進捗を勘案して評価

区分	実施計画
A	進捗が計画を上回る
B	進捗が概ね計画どおり
C	進捗が計画を下回る